

SDGs取り組み

厳しい経営に糸口

エネジン社長講演



LPガス販売のエネジンの藤田源右衛門社長＝写真が、同社の経営と持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みについて浜松市中央区の本社で講演した。中小企業経営者ら12人が聴講して理解を深めた。

藤田社長は、LPガス事業は販売先の世帯数が減少し他社との差別化も難しいが、厳しい経営環境の中でも糸口を見いだしたのがSDGsだったと説明。活動を通じて地域との接点が広がったことでビジネスチャンスが生まれ、採用力も高まつたと指摘した。

最初の活動は自社が取り扱う太陽光発電パネルを使った小学校での授業。目を輝かせる子どもたちを見て社員が活動に前向きになつたといい、藤田社長は「までは本業から離れていない分野で始めることが大事」と呼びかけた。（寺本康弘）